

# 奈良県の経済動向の概要(令和3年10月)

別紙

統計分析課

## 奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
6月				
7月				
8月				
9月				
最新月の動き	▲7.5% 3か月連続で減少	▲37.6% 3か月連続で減少	▲7.5%【前月比】 2か月連続の減少	10.7% 5か月連続の増加

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
6月				
7月				
8月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 7か月連続の減少	▲1.7% 2か月連続の減少	0.05ポイント【前月比】 8か月ぶりの減少	▲0.24ポイント【前月比】 2か月連続の減少

	上昇		横ばい		低下
--	----	--	-----	--	----

※生産・雇用は前月比

## (参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。【4月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。【7月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【6月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。【8月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】	足踏み状態となっている。【10月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、全体としては持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言のもとで、消費への下押し圧力が強まっている。【9月公表分】	関西の景気は、全体としては持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費への下押し圧力が強い状態にある。【10月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。【9月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポが弱まっている。【10月公表分】